



## 第90回宮崎大学イブニングセミナー

# 世界を視野に、地域から始めよう

# 産業動物防疫で宮崎と世界をつなぐ

日 時 : 2024年6月4日 (火) 17:30-19:00

場 所 : 宮崎大学木花キャンパス

創立330記念交流会館コンベンションホール

(Microsoft Teamsで同時配信します)



申込方法 : 事前登録は不要です

※Microsoft Teamsで視聴される方は登録が必要となります。

(QRコードをクリックするか、コードを読み取って登録ください。)

※上記でのお申込みが困難な場合には、メールにて「学内・外者の別, 学内者の場合は教職員・学生の別, 所属, 氏名」をお知らせ下さい。

宮崎大学研究推進課総務係 E-Mail : ken-somu@of.miyazaki-u.ac.jp

### 次 第 :

《司会》吉田 彩子 (産業動物防疫リサーチセンター センター長)

#### 開会挨拶

17:30-17:35 鮫島 浩 (学長)

#### 発 表

17:35-18:00 地域で取り組む牛伝染性リンパ腫対策

関口 敏 (産業動物防疫リサーチセンター 教授)

18:00-18:25 8大学産業動物防疫コンソーシアムによる国内連携

岡林 環樹 (産業動物防疫リサーチセンター 教授)

18:25-18:55 SATREPSを通じた国際貢献と国際連携の構築

三澤 尚明 (産業動物防疫リサーチセンター 特別教授)

#### 閉会挨拶

18:55-19:00 片岡 寛章 (理事・副学長)

## 第90回宮崎大学イブニングセミナー

テーマ

世界を視野に、地域から始めよう  
産業動物防疫で宮崎と世界をつなぐ

## 1. 「地域で取り組む牛伝染性リンパ腫対策」

関口 敏（産業動物防疫リサーチセンター 教授）

牛伝染性リンパ腫は、牛伝染性リンパ腫ウイルス (Bovine Leukemia Virus: BLV) によって引き起こされる牛の持続感染症である。1927年に岩手県で初めて初症例が報告されて以来、国内の発生数は増加の一途をたどっている。そこで宮崎県では、宮崎大学、JA宮崎経済連、獣医師、生産者、宮崎県家畜保健衛生所など関係機関が連携し、BLVの清浄化に向けた地域レベルの取り組みを開始した。本講演では、宮崎県のBLV対策が全国モデルケースとなる可能性を示しつつ、その具体的な内容について紹介する。

## 2. 「8大学産業動物防疫コンソーシアムによる国内連携」

岡林 環樹（産業動物防疫リサーチセンター 教授）

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター(CADIC)から日本国内の獣医系大学に設立された産業動物感染症研究センターへの呼びかけにより、2018年12月に4大学で結成された産業動物防疫コンソーシアムは、2020年までにさらに4大学が加入し、現在、「8大学産業動物防疫コンソーシアム」として活動している。JRA畜産振興事業「大学連携による家畜防疫に関する知の集積」では有機的な連携のために、「検査技術の共有化システム」「防疫データベース」を構築し、国内の防疫基盤強化による家畜生産性を目指した共同研究を推進した。また、2024-2025年度には「8大学連携による家畜伝染病早期警戒網構築」事業の実施を予定している。本セミナーにおいては、このコンソーシアムにおける取り組みと発展性について紹介する。

## 3. 「SATREPSを通じた国際貢献と国際連携の構築」

三澤 尚明（産業動物防疫リサーチセンター 特別教授）

SATREPSプロジェクトでは、日本側の代表機関である宮崎大学CADICと産業動物防疫に関する学術ネットワークを構築しているタイをASEANの国際教育・研究拠点として位置づけ、CADICが優位性を持つ感染症診断、疫学解析および食品衛生の研究分野を中心に、タイ農業協同組合省畜産開発局 (DLD) 等の研究機関との共同研究により、安定的かつ持続可能な家畜生産と安全・安心な畜産製品を供給できる病原体制御新技術を開発し、タイ国内において社会実装することにより、畜産製品の生産量と輸出量の増加につなげることを上位目標に掲げて実施している。本セミナーでは、CADICがタイのカウンターパートと展開している共同研究の概要について紹介する。